

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

第3号

2004.3



病院機能評価認定病院の 認定が**更新**されました

かしわばゼミナール
同じ**脳卒中**でも患者さんによって症状が違います
食べて健康
赤ピーマン

おしらせ
脳の健康診断『**脳ドック**』を4月より開始します



安全で安心いただける
医療サービスを提供しています



病院機能評価認定病院の 認定が更新されました



病院機能評価は 第三者による病院の評価です

医療機関が質の高い医療サービスを実現させるためには、自分の病院の位置付けを正確に知る必要があります。そのためには、第三者による評価を受けることが大切です。

そこで、財団法人日本医療評価機構が、病院の理念や地域での役割、診療の安全管理など、さまざまな項目について評価を行うのが「病院機能評価」です。これらの評価が一定水準を超えていると判断された病院には、認定証が交付されます。

当院は1998年8月に道内で6番目に Ver・2・0 の評価項目で認定を受け、2003年11月には、より高い水準が求められる Ver・4・0 での認定を、一般病院の種別で道内5番目に受けることができ、更新されました。



質の高い医療を提供するために

院長 金子 貞男

当院で1998年より取り組んでいた病院機能評価認定は、更新時期である2003年に、改めて再認定を認められました。私たちは再認定を、患者さんと医療者の「安全と安心」の枠組みが評価されたものと理解しており、診療内容のすべてが評価されたものではないと、気持ちを引き締めております。

私たちは再認定を受けるにあたり、全職員が医療に対する再認識を深めることに集中いたしました。そして、患者さん一人一人に「安全と安心」を提供する心遣いと創意工夫を重ねながら、医療者としての生き甲斐を求めたいと考えております。

また、日本医療機能評価機構に再認定された今こそ、質の高い医療を提供する責任は、さらに重いものであると、受け止めております。

私たちの考えること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

快適な環境で回復を目指します 「リハビリテーション施設」リニューアルオープン

**急性期から回復期の
リハビリを担います**

**道内でも数少ない
模擬住宅も設置**

脳の総合病院として、一人一人の患者さんに合わせた「心と体のリハビリテーション」を実施している当院のリハビリテーション施設が4月に生まれ変わります。

当院がリハビリに取り組んだのは、今から15年前の平成元年で、理学療法士1名と作業療法士1名でのスタートでした。現在では、厚生労働省が定める施設基準の「総合リハビリテーションB施設」「言語聴覚療法I」を取得し、より高度なリハビリテーション医療が提供できるようになりました。

新施設の規模は、これまでの2倍になりました。専門スタッフを増員し、理学療法士14人、作業療法士12人、言語聴覚士3人の総勢29人体制で、急性期から回復期のリハビリにじっくりと取り組みます。

施設内には、道内でも数少ないADL室と呼ばれる模擬住宅を設けています。家事や調理、階段昇降の練習、トイレやお風呂の入り方など、日常生活に即したリハビリを行うことができます。

さらに、リエゾン精神医学を大切に、身体的な回復だけでなく、心の回復に向けたリハビリを行い、1日も早い回復・退院を目指していきたいと考えています。

新リハビリテーション施設



皆さまのリハビリを笑顔で支える29名のスタッフ



準備中のADL室

かしわば ゼミナール 第3回

同じ脳卒中でも 患者さんによって症状が違います

早めの診察で大発作を予防しましょう

脳の血管の状態や場所で 病名が決まります

一晩様子を見たことで
手遅れになるケースも

脳卒中は、「脳の動脈が詰まる」か、「脳の動脈が破れる」ことで起こる脳の機能障害で、どこの血管に、どういった変化が起きたかによって、それぞれの病名が付けられています。

脳の動脈が詰まった状態を「**脳梗塞**」、脳の動脈が破れて出血している状態を「**脳出血**」と区別しています。

さらに脳梗塞は、2つに分けられます。脳の血管が狭くなって血液のかたまりが詰まる「**脳血栓**」と、心臓などの脳以外で生じた血液や脂肪のかたまりが脳の血管に流れ込んで詰まる「**脳塞栓**」です。

脳出血は出血する場所によって病名が違います。脳内で出血すると「**脳内出血**」、脳の表面で出血すると「**くも膜下出血**」です。



「明日でも大丈夫だろう」と、一晩様子を見たことで手遅れになるケースも少なくないのです。当院では、夜間や救急の受診受入を24時間体制で整えています。ご本人やご家族が「普段と違う」「何か変だ」と感じた時点ですぐにご来院ください。

まず、脳梗塞の発作の多くは突然ですが、前ぶれ発作といわれる一過性脳虚血発作が起こることがあります。

例えば、右半身の力が急に抜けてしまったり、同じ側の手足が急にしびれたりするという症状があります。このほかにも、舌が回らずにうまく話せなくなる、ものが二重に見えたり、めまいがするといったように、患者さんによって、さまざまな発作が起きます。こうした前ぶれ発作は、数分から数時間程度で消失する一時的な軽い症状のことが多いので見逃しがちですが、すぐに受診し適切な治療を受けなければなりません。



ふだん見慣れた緑色のピーマンを完熟させると赤ピーマンになります。

栄養素が多いのは、緑より赤です

赤ピーマンは緑色のピーマンに比べ、ビタミンCは2倍、カロテンは約3〜4倍にもなります。

赤ピーマンは、美容と健康に最適

カロテンは、老化を防ぐ抗酸化力や免疫力を高める働きがあります。

ビタミンCは、ウイルスや細菌に対する抵抗力を高めます。メラニンの生成を抑制し、シミやソバカス、吹き出物を防ぐ働きもあります。

平成14年より行っている当院の増改築工事も順調に進み、残すところ1年となりました。これも皆様のご理解とご協力のおかげと職員一同深く感謝いたしております。今後は、平成17年春の完成を目指し、病棟の改築と移転を行う予定です。

編集後記

です。よろしくお願いたします。本州では暖冬の影響で桜が今月中に満開になりそうですが、北海道の春はもう少し先のようにです。昼夜の寒暖の差はまだ続きそうです。健康管理には十分ご留意ください。

(小川)

Aコース	頭部MRI・頭部MRA・頸動脈エコー・血圧測定	33,000円 税込み
Bコース	頭部MRI・頭部MRA・頸部MRA・頸動脈エコー・脳波検査・血圧測定・血液検査・尿検査	45,000円 税込み

完全予約制です。2週間前までに、お電話または当院受付でお申し込みください。

電話 011-859-5636 (直通)

受付時間 / 9:00~12:30 13:30~16:30

*土・日・祝日は受け付けていません。

MR A (磁気共鳴血管撮影) とMRI (磁気共鳴断層撮影) などの高度な画像診断装置を用いて、脳の精密健康診断ができます。毎週火・木曜日の午後(祝日を除く)



脳の健康診断「脳ドック」を4月より開始します